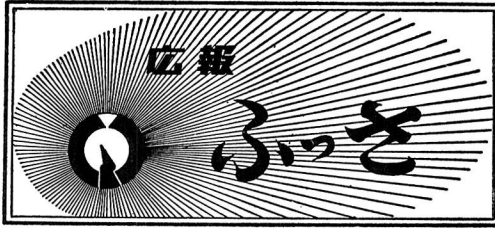


町の人口

昭和42年 4月1日現在
 住民登録人口34,265人

内	男	16,816人
	女	17,449人
世帯数		9,915戸
3月中		(増) 511人
		(減) 212人



1967. 4. 10.

No. 72

発行所 福生町役場
 発行兼 調 査 室
 編集人
 電話51-1511・内線221



奠立っ若もの

中学生のことば

「父母の皆さん、来賓の皆さん、反抗期の中学生の行動に、いろいろな心配をおかけしたことでしょう。わたくしたち十代は、自分に立ちふさがれるものすべてにぶちあたりたいのです。ふさがるも、わたくしたちとの卒直なありのままの話し合いを期待しておりますのでお願いします。」

…これは中学卒業生の答辞の一節です。そしてまたこうもいつています。

「三学期が始まり益々落着かず、不安は募るばかりで悩んだこともありました。苦しい夜もありました。泣きたいこともありました。」

「私たちは三人並んで語りながら歩きたいのです。縦に一列になつて登校せねばならないような現実には、中学生の自殺が千人を越す可能性があるのではないのでしょうか。」

この言葉の中には、友だちからはなれて、受験受験で明くれた学生生活に対するきびしい批判があります。そして更に、

「いつまでも冬を残してはなりません。春の野山がすべてに緑や花をもたらせるように人間社会の全面的な完全の進歩を、獲得しようではありませんか。」

「そしてきょう暗れて卒業できますことは、ひとえに先生方の御熱誠あふれる御指導と父母の慈しみのたまものと深く感謝しております。」

「おとうさん、おかあさん。そしてみなさん、ありがとうございます。」

この子等が、何時までも、健康で、のびのびと、しつかり歩いてゆけるように…

昭和四十二年度の町政の方向をきめる本年度の第一回定例議会は、去る三月十日から二十四日までの十五日間開催され、開会のはじめに今後の町の歩むべき道が町長の施政方針演説で示されましたので、その概要をお知らせします。

生活水準の高度化に対応

昭和四十二年度施政方針

福生町長 石川常太郎



昭和四十二年度を迎えるにあたり地財法下健全財政確立のため、あらゆる町政が制約を受ける困難な情勢の中で、本年度の行政施行が予想以上の成果を見つづ終結を眼の前にしておりますことは、三万町民の福祉増進のため日夜努力をいただいております議員各位のご厚情によるものと深く感謝の意を表する次第です。

現下の地方行政は生活水準の向上につれ、年ごとに高度化を要求されております。そのため行政需要も各方面にわたり、増大の一途をたどっているのが現状でございます。

これらの行政需要の充足のため第一条件は、その源泉となる財

政基盤の確立で、財政需要の的確な把握と冗費の節減、効率的な財源充当に心がけ、無駄のない合理的な財政運営をはかり、もつて健全財政を基調とした積極的な行政施策の推進に鋭意努力を続けていく所存です。

なお本年度予算は、財政再建計画にしたがい編成されたもので、早い時期に補正を行なう必要がありますので一応暫定的な予算ともいえます。

したが、ましてこれから申し上げることは、新年度予算というよりも、むしろ昭和四十二年、ならびに将来にわたつての考え方を申しあげるわけでございます。

教育行政の強化について

昭和四十二年度においては一段と計画施策を推進し、第四小学校の防音改築工事はもとより、第二中学校の屋内体育館等を建設し、さらに将来に備えて、第五、第六

小学校用地取得、既存の第二中学校の敷地買収を地方債をお願いし実現したいと思つます。これらの経費は大体二億円を要します。またPTAの負担の軽減も十分に配慮したいと思つます。

通学道路の整備については、比較的道の整備されていない地区に重点をおき、舗装等の措置を講じる予定です。

その他既存の学校整備も少しづつではありますが、充足してよりよい環境で、安心して勉強に励めるよう心がけていくつもりです。

都市開発の問題について

福生駅東口の開発については、都市計画事業として根本から計画をねる必要がありますので、新年度予算に測量費のご審議をお願いしております。田んぼ開発については、都市造りの基礎として区画整理を施行いたしまして、将来に備えようたいまお話し中でございます。

公園整備計画は柳山公園にできましたら本年度中に町民プールを建設したいと考えています。

環境衛生ならびに民生施設の充実について

現在のし尿処理に要する経費は大変なもので、その殆んどが一般財源でまかなわれていたため、町財政に著るしい影響をおよぼして

おります。このため財政的な意味だけでなく効率的な衛生問題解決のため処理場の早期改良を議員さん共々努力いたしましたと思つておりますが、ある程度の見直しもついたような気がします。

土木、交通行政の拡充

道路については必要度の高い地区から舗装をいたしたいと思つます。また排水路に引続いて、中部排水路の考えをもつております。

交通安全対策は本年度発足したばかりですが、町としても、安全指導、道路標式等にその財源を投入したいと思つております。

以上地財法下の中でその努力をすることともに、これらの事業をなすとか実現させたいと思つております。さらにその他都立多摩高等学校福生分校の全日制の昇格とか、熊川、小川間の架橋、区画整理事業の促進、あるいは水道料金の値上げ問題など多くの問題が山積しております。今後逐次ご協力をお願いいたします。

町のあゆみ

- 3月 月例出納監査
- 3月 福生断郵おこなわれる
- 3月 加美平団地入居第二次募集はじまる。
- 3月 第一回福生町議会定例会開催
- 3月 心配ごと相談所開設
- 3月 於役場二階会議室
- 3月 福生町々議会議員選挙立候補予定者説明会於福生町役場。
- 3月 税金の申告告〆切
- 3月 戦没者叙勲伝達式。於役場二階会議室
- 3月 一中卒業式
- 3月 二中卒業式
- 3月 東京都知事選挙告示
- 3月 第二小卒業式
- 3月 第一小、第三小卒業式
- 3月 第一回福生町議会定例会閉会
- 3月 第四小卒業式
- 3月 福生町武道館落成記念条道大会開催される。

区分	死亡	重傷	軽傷	小計	物件事故	総件数
42年	0	4	17	21	28	49
41年	0	1	15	16	15	31

区分	全焼	半焼	部分焼	車両	原野	合計
42年	0	0	1	0	0	1
41年	5	0	0	0	0	5

昭和41年度議会のあゆみ

昭和42年度の当初にあたり、昨年度の議会の動きをまとめてみました。会議は定例会、臨時会と各種委員会を合わせると65日で約6日に1回の会議が開かれました。なお各常任委員会とも地財法の準用にもとづく計画により活発な活動がなされ、小中学校防音工事、基地外排水路、道路舗装、水道事業の拡張などの建設事業が進められました。また広域行政促進特別委員会が設置され、隣接町村との合併を推進し市制実現への足固めをしてきました。

会議の状況

提出議案	106件	会議名	日数
原案可決	103件	定例会	8
撤回	3件	臨時会	8
請願、陳情	17件	全員協議会	6
採 択	13件	総務委員会	9
不採択	1件	建設委員会	11
撤回	1件	厚生委員会	4
保留	2件	議会運営委員会	15
		議進特別委員会	4
		計	65

▽ 福生町消防団条例の一部改正
福生町消防団の出動手当が火災、訓練、特別警戒出動とも、一回二〇〇円に増額された。

▽ 青少年問題協議会条例の一部改正
青少年問題協議会の委員を現在

第一回福生町議会定例会は去る三月十日から二十四日までの十五日間の会期が、大つて開催され、町長の施政方針、大沼秀伍議員の一般質問のあと、提出議案二五件を審議して、原案どうり可決しました。おもな内容はつぎのとおりです。

井上 卓三氏
昨年九月任期満了で辞任した並木秀氏の後任に、井上卓三氏(福生町福生四八七)が議会の同意を得て任命されました。

そのほか、昭和四十一年度一般会計、特別会計補正予算、及び昭和四十二年当初予算が可決されましたが予算については四ページをこらしてください。

消防団員出動手当を増額

青少年問題委員は一六〇名に増員

第一回定例会

の九五名から一六〇名に増員し、広く各層から委員を選び、運営の合理化を図るようになりました。

新教育委員に

新入学児童を

交通事故から守ろう

一 通学は上級生と共に

今年福生町の小学校には、合計五七六名の児童が入学し、家庭生活から社会生活への第一歩をふみだしました。このため、ここの数ヶ月は新しい生活に慣れない児童が道路にいつもいる人も、周囲の人もつぎの点をよく守り、かわいらしい一年生を交通事故から守りましょう。

車を運転する人は

▽ 歩行者が横断歩道を横断し、また横断しようとしているときは必ず横断歩道の手前で一時停止する。

▽ 踏切や、信号機のない交差点などの危険なところは、必ず一時停止して左右の安全をたしかめる。

歩行者が多いせまい道は徐行する。

▽ 歩行者が多いせまい道は徐行する。

家庭では

▽ 口でやかましくいうより実際に道路に出て、手をあげていつしよに横断歩道を渡ってみたり、曲りかどでは左右を見て曲ることをよく教える。

▽ 信号機のある横断歩道でも事故があり得ることを教えこむこと

▽ 忘れものをとりに帰宅途中の

事故が多いことは、児童が忘れものに心をうばわれていることです。母親は、こどもを学校や遠足へ出す場合は、念をいれて忘れものがないように点検してやること

▽ 学校の行き帰りは、できるだけ上級生をまじえたグループ行動

昭和四十一年度中学校卒業生の進路状況

七九・五%が進学

目立つ普通科高校への増加

本年度の中学校の卒業生は、一四二八名、二中一八七名で合計四六九名が、高校へ、実社会へと巣立つていきました。進学面では教育の本来の姿に戻すことを目的にした学校群制度が各方面に大きな話題を投げかけましたが、一

中、二中とも予想を上回る好成績で卒業生の四〇%が公立高校へ、それぞれ進校へそれぞれ進学しました。進学内容は男女とも普通科高校へも普通科高校への進学が目立ち、ついで男子

では工業高校が多く、女子は私立高校への進学が四五%をしめしました。公立、私立とも商業や農畜関係への進学は減少しているようです。なお、就職者のうち男女とも約半数が定時制に進んでいきます。

昭和41年度中学校卒業生の進路状況

種別	進路状況		計
	男子	女子	
卒業生	249	220	469
進学	21	0	2
進学	57	45	102
普通科	41	0	41
商業	7	19	26
農畜	5	8	13
家政	0	3	3
計	110	75	185
私立高校	59	89	148
普通科	27	0	27
商業	4	6	10
家政	0	3	3
計	90	98	188
定時制	18	16	34
訓練所	2	15	17
各種学校	36	26	62
職業	5	0	6
家事	0	1	1
未定	3	1	4

昭和42年度福生町会計当初予算額表 単位千円
一般会計 421,958 509,674 △87,716 71.2%
国民健康保険会計 76,333 61,751 14,582 12.9%
公益質屋会計 1,701 1,663 38 0.3%
と畜場会計 17,387 14,334 3,053 2.9%
福生土地区画整理会計 74,930 34,929 40,001 12.7%
合計 592,309 622,351 △30,042 100%

水道事業会計
(1) 収益の収入及び支出

水道事業会計 収益の収入及び支出 単位千円
区分 予定額 前年度予定額 比較
水道事業収益 88,152 56,977 31,175
内訳 営業収益 70,732 54,502 16,230
営業外収益 17,420 2,475 14,945

水道事業会計 支出
区分 予定額 前年度予定額 比較
水道事業費用 88,152 56,977 31,175
内訳 営業費用 54,609 43,803 10,806
営業外費用 32,974 12,403 20,571
予備費 569 771 △202

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出
区分 予定額 前年度予定額 比較
資本的収入 70,000 80,000 △10,000
内訳 企業債 70,000 △10,000
工事負担金 0 0

資本的支出
区分 予定額 前年度予定額 比較
資本的支出 83,547 89,968 △6,421
内訳 建設改良費 80,039 △6,314
企業債償還金 3,008 163
予備費 500 △270

昭和四十二年度予算
特別会計は大巾に増額
昭和四十二年予算は別表のとおりであるが、このうち一般会計予算は、昭和四十年の財政再建団体準用当初の第三年度分の計画により編成してあります。このため実際とは一致しない点が多くあり、いわば暫定予算ですので、今

回別表のとおり予算概要にとどめ詳細については、近々のうちに計画を変更してあらためてお知らせいたします。特別会計予算は前年度に比べて、いづれも増額してあります。国民健康保険会計、水道事業会計などいづれも増大する人口に対処するため力がそがれています。

水道事業会計の内容
水道料金など
加美平区画整理
加美平区画整理
加美平区画整理
加美平区画整理

歳入の変更
(増額したもの)
国庫支出金
(減額したもの)
普通建設事業費
町立第二小学校建設費五〇万円
物件費 し尿投入手数料など
一六万一千円

第四次変更内容
(増額したもの)
歳入の変更
(増額したもの)
人件費、物件費、補助費が東京都知事選挙費として一八万九千円。
第四小建設費 八万四千円

第四次変更内容
(増額したもの)
歳入の変更
(増額したもの)
人件費、物件費、補助費が東京都知事選挙費として一八万九千円。
第四小建設費 八万四千円

昭和42年度一般会計歳入歳出予算

昭和42年度一般会計歳入歳出予算 単位千円
歳入 本年度予算額 前年度予算額 比較
1. 町税 187,295 184,076 3,219
2. 国有提供施設等所在市町村助成交付金 24,607 24,607 0
3. 地方交付税 45,446 48,665 △3,219
4. 分担金及び負担金 2,201 2,201 0
5. 使用料及び手数料 16,357 15,987 370
6. 国庫支出金 84,144 124,578 △40,434
7. 都支出金 26,733 29,431 △2,698
8. 財産収入 312 55,266 △54,954
9. 諸収入 10,663 10,663 0
10. 町債 24,200 14,200 10,000
合計 421,958 509,674 △87,716

四月は固定資産税第一期分の納期です

赤字解消計画表
40年度解消額
40年 41年 42年 43年
赤字額 9145万4千円
変更計画 40 41 42

去る三月二十四日の町議会で、昭和四十一年度各会計の最終予算と昭和四十二年の当初予算が可決されました。昭和四十一年度の予算については地税法下であり、みなさんの最も関心のあることと思えますので、一般会計の変更状況を重点的にお知らせいたします。

第四次変更内容
(増額したもの)
歳入の変更
(増額したもの)
人件費、物件費、補助費が東京都知事選挙費として一八万九千円。
第四小建設費 八万四千円

第四次変更内容
(増額したもの)
歳入の変更
(増額したもの)
人件費、物件費、補助費が東京都知事選挙費として一八万九千円。
第四小建設費 八万四千円

第四次変更内容
(増額したもの)
歳入の変更
(増額したもの)
人件費、物件費、補助費が東京都知事選挙費として一八万九千円。
第四小建設費 八万四千円

第四次変更内容
(増額したもの)
歳入の変更
(増額したもの)
人件費、物件費、補助費が東京都知事選挙費として一八万九千円。
第四小建設費 八万四千円

昭和41年度計画変更による増減状況

昭和41年度計画変更による増減状況 単位千円
歳入 現在計画額 第4次変更額 第5次変更額
1. 税収入 217,282 221,935 221,935
2. 地方譲与税 25,716 25,716 25,716
3. 地方普通交付税 44,580 45,698 45,698
4. 国庫支出金 201,127 201,231 202,077
5. 都支出金 23,361 24,249 24,438
6. 財産収入 4,381 4,523 4,523
7. 分担金負担金 1,202 1,159 1,159
8. 使用料 7,310 7,310 7,310
9. 手数料 9,411 8,427 8,427
10. 寄附金 500 500 500
11. 繰入金 3,000 3,000 3,000
12. 諸収入 13,937 13,937 13,937
13. 地方債 41,700 42,700 42,700
合計 596,507 603,385 604,420

昭和四十一年度 財政再建計画変更の公表
第四次、五次
歳入は七九一万三千円増額
最終額は六億二、二〇九万六千円

国庫支出金(国から交付されるお金) 衆議員議員選挙費と東福保育園、すみれ保育園への補助金 一〇万四千円
都支出金(東京都から交付されるお金) 東福保育園とすみれ保育園の補助金四二万二千円。第二中学校施設整備費補助金四六万四千円。
財産収入 積立金利息六千円
電話債券売却 一三万六千円。
地方債(国などから借りるお金) 二小、三小、四小、二中の防音工事のため一〇〇万円

歳出の変更
(増額したもの)
人件費(役場で働く人の給料) 四四三万五千円。
補助費
本二会館建設費五〇万円、商工団体育成補助金二〇万円、選挙入場券配付料、児童福祉委託など三九万八千円、合計一〇九万八千円。
繰入金
国保会計へ 二〇〇万円。
その他 一千元。
積立金
退職手当組合積立金 五千元

人口構成からみた福生町

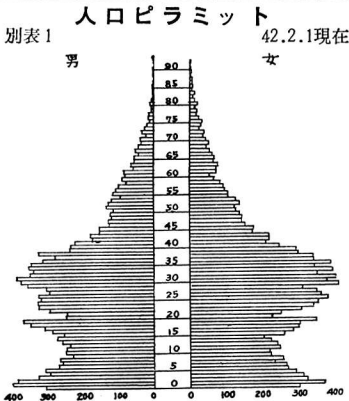
完全な都市型を形成

人口密度は西多摩郡ではトップ



人は住みよい所に住まいを求めますが、町の人々の動きや構成をみることも、町の形態を知るうえに、きわめて大切なことです。そこで昭和四十一年の統計を中心に福生町の人口をみてみました。なお昭和四十一年は丙午の年であり、出生率が注目されましたが、前年よりやや減少し、今年の出生率が増加の傾向にありますので、福生町でも、これ等の迷信による影響はややあつたようです。

どつており、一日平均一六人が生れ、九人が転入してあります。一方三日に一人が死亡し、一日六人が転出しており異動の激しいことを示しています。転入者は東京と神奈川県が多く、転出者は女子が多く東京都内が主な転出先です。転出者の多いのは福生町の特徴ですが、これにはいろいろ理由があると思います。今年の一月一日現在、福生町で自分の家を持つている世帯は四三二七世帯で、これは全世帯の四七%にあたりますが、これ等の世帯はだいた



人口増加状況

年度	増		減		増加人口
	出生	転入	転出	死亡	
40	718	3,437	2,423	139	1,593
41	590	3,316	2,424	118	1,364

福生町の人口は増加の一途をた

りますが、これ等の世帯はだいた

い福生町に永住する考えられぬので、転出入口は約半数をしめる貸家住まいの人の中であると思われるが、転出理由にはつぎのことがあげられます。

- ▽ 基地を有する町のため、多くの人々が流入、流出していること
- ▽ 都心への通勤者が転入したが一時的に住み、その後勤務地等の近い所を見つけて転出する
- ▽ 職場の転動により他府県へ転出する

その他詳しい転出原因を調べることは困難ですが、毎年出生による数をほるかに上回る人口増をよせているのをみると、転入者より町の人口が増加していることは明らかであり、転出入口はある一定の人々であると考えられます。

人口ピラミットから

見た構成

別表一は、今年の一月一日現在の人口構成図ですが、後進地域にみられる二等辺三角形型とは異り、二十才から四十才までの労働人口が多く、完全な都市型となつています。しかし、出生率と死亡率が低く、まんかぶくれた近代都市型と異り、一才から五才までの幼年人口が多いのは注目すべき特徴でしょう。これは二〇才以上の労働人口の中に、結婚後間もない家庭が多いことが考えられます。町には、新しく家庭を持つ労働人口がどんどんふえているので

他市町との比較 42.2.1現在

市町名	総人口	世帯数	一世帯当りの人員	人口密度(1Km ²)
福生町	32,199	9,227	3.49	3,126
青梅市	62,065	14,155	4.38	597
立川市	104,605	29,554	3.54	4,280
昭島市	62,953	16,306	3.86	3,660
国立市	52,411	15,341	3.42	6,487
羽村町	17,105	4,257	4.02	1,747
清瀬町	39,698	10,243	3.88	3,896

家族構成

家族構成でも福生町は一世帯三・四人で西多摩郡では最も低く、これは東京都の市の一世帯当り人員と同じです。町の家族構成は次第に小家族を形成してきました。

人口密度

これは一平方キロメートル内に住んでいる人口を算出したものですが、福生町は三、一六名で西多摩郡ではトップであり、東京都の市の平均人口密度二、八八七名をはるかにしのぎます。以上町の人口構成をみてみましたが、完全な都市型となり、激しい動きの中で人口増加の傾向をたどつていようです。

毎週金曜日に 職業相談所を開設

4月から毎週金曜日に、青梅職業安定所職員が福生町役場に出張し、つぎのとおり職業相談所を開設しています。働きたい人、また働く人を求めている方はご利用ください。

▷日時 毎週金曜日午後1時～4時
▷場所 福生町役場内住民相談室
▷相談内容
(1) 一般、パートタイムの職業紹介
(2) 一般、パートタイムの求人受理

福生町町議会議員選挙運動用ポスターの掲示についての注意

つぎのものには、選挙運動用ポスターを掲示できませんのでご注意ください。

▷ 地方公共団体、国鉄、電々公社、専売公社の所有し、もしくは管理する建物、道路橋りょう、電柱、街路樹、ガードレール、道路標識、公園等いつさいのもの。東京都電力株式会社の所有しもしくは管理する電柱及び架線柱その他いつさいのもの。

以上のもの以外のもでも、居住者もしくは管理者または所有者の承諾を得ないでポスターを掲示することはできません。なお、候補者や運動員がポスターの掲示をお願いする場合は、どなたも心よくご協力ください。

本年度宅地等に対する固定資産税 及び都市計画税の課税方法

昭和四十二年度は固定資産税(土地、家屋等)の評価額の年度と定められておりますが、法の一部改正によりその評価額は行なわず、地目変換等特別の場合を除き、宅地等については、昭和三十八年度の評価額(旧評価額)と昭和三十九年度に評価替えした評価額(新評価額)とを比べて、その上昇割合に応じて前年度分の課税標準額に、つぎの表により、それぞれの調整率を乗じて税額を算出します。したがって、本年度も昨年と同様な方法で課税されますので、宅地等に対する税額は、昭和四十一年度に比べ、固定資産税について

ては、一・一倍から一・三倍、都市計画税については一・三倍から一・九倍となりますので、昨年度は免税でも本年度課税される方もでてきます。

なお、この方法による課税は、課税標準額が、昭和三十九年度に行なった新評価額になるまで行なわれます。

上昇割合	固定資産税都市計画税
三倍以上	負担調整率負担調整率
三倍未満	一・一倍
三倍(未満)	一・二倍
八倍以上	一・三倍
八倍未満	一・六倍
八倍以上	一・九倍

福生おがはし

◎ 宮 本 橋

先にご紹介した新堀橋と宿橋との間にあるのが、宮本橋である。これは、神明社宮司の宮本家の先祖と結びつきのある橋の名前であると思われる。宮本家の先祖は、江戸時代に宮本橋を多摩川の方へくだつていったたところにあつた宝蔵院の住職をされていて、明治初年に宮司になられたとのことで、今でも、宮本の墓や康申塔などがあります。つまり、そうしたところの近くにあつた橋なので、宮本橋という名がつけられたのでありま



固定資産税の 軽減措置を解除

昭和三十八年中に
建築した家屋

住宅建設を促進する目的で、新築家屋に対する固定資産税が住宅用の部分については、軽減されておりますが、昭和三十九年度からその適用を受けている家屋については、軽減期間の三年が過ぎましたので、昭和四十二年度から、一般と同じ固定資産税額となります。

この適用解除は、昭和三十八年一月二日から、昭和三十九年一月一日まで、新築されたものが該当します。

九名が叙勲

第三回戦没者叙勲伝達式

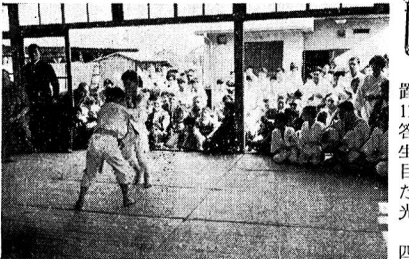
昭和四十一年年度第三回目の戦没者叙勲伝達式は、三月十六日午前十時から役場の二階会議室でおこなわれ、つぎの九名の方が内閣総理大臣から、勲記、勲章が送られました。

- 階級・戦没者・遺族・続柄
- 兵長・瀬賀 太郎・武雄・兄
- 兵長・佐藤長三郎・キミエ・妻
- 上等兵・中岡 誠一・武彦・弟
- 二等兵・井上 嘉夫・弘・兄
- 二等兵曹・今井義明・庄太郎・兄
- 上等水兵・白井養治・和子・妹
- 曹長・浜中芳雄・古川美津子・妻
- 伍長・橋本 貞男・ハル・母
- 伍長・小林 重一・長行・父

日米親善に一役かつた柔道大会

福生町武道館落成記念柔道大会は、3月26日午後1時から福生町武道館でおこなわれました。これは昨年武道館ができてからちょうど1年になりますので、これを記念しておこなわれたものです。参加者はアメリカ人も含め小学生の部31名、中学生の部15名、高校、一般の部25名で各クラスとも熱戦が展開されましたが、アメリカ人の参加者や応援者が多く、試合はさながら日米対抗のようでした。成績順位はつぎのとおりです。

- | | |
|-------|-------------------|
| 小学生の部 | 優勝 松山 正男 |
| 2位 | デー・ジョージ 3位 アル・ジャー |
| 中学生の部 | 優勝 M・ウィク |
| 2位 | 中村 幸人 3位 P・ウィリアム |
| 高校一般 | 優勝 C・クロソール |
| 2位 | S・ヘルミー 3位 横山 卓 |



第二小のテレビ卒業式



福生第二小学校のテレビ卒業式は3月22日午前10時からおこなわれました。第二小学校では昨年創立90周年を記念し、全教室にテレビ受信器を設置し、視聴覚授業をおこなってきましたが、この日は三階音楽室に139名の卒業生と先生が集り、先生のカメラマンが卒業生の表情や送辞答辞風景をブラウン管を通して二教室に分散して出席した父母や在校生に送りました。各教室では、大きく写し出される我が子の晴れ姿が目がしらをおさえる父母もおり、時代の進歩を感じさせる卒業式でした。式を終った卒業生は、6ヶ年の思い出を胸に、在校生のホタルの光の合奏の中を感慨深い校園を去っていきました。

なお、今年の小学校の卒業生は第一小が139名、第三小が136名、第四小が59名で合計473名の児童が中学校の門をくぐりました。

この人に聞く

④

福生町選挙管理委員長 志村秀雄氏



すか

四月は、わたしたちの日常生活と政治をつなぐパイプであるといわれ、東京都知事選挙と福生町々議会議員選挙がおこなわれます。これ等の選挙は地域民主主義の確立が大きな課題となっている現在、さわめて大切な選挙です。そこで、福生町選挙管理委員会の委員長さんを訪れ、いろいろとお話をお伺いしました。

選挙管理委員生活は何年になりますか

昭和二十七年からですから今年で十五年目です。委員長は昭和三十六年からつとめております。

福生町選挙管理委員会の組織はどうなっていますか

選挙管理委員が四名おり任期は四年です。そのほか、明るく正しい選挙をすすめていくため、二十二名の委員があり、ふだんから「正しい選挙のあり方」の啓発活動をしています。また事務局には三名の職員がおります。

福生町の投票率はどうお考えですか

平均七五%です。これは福生町が異動の激しい町で、福生に選挙権を残して転出する人がいるため、このような結果になっているのです。わたしたちも選挙のために棄権防止につとめていますが、これ以上の投票率はなかなか大変です。最も大切なのは、投票率より各人がよく考え、投票率より最も意義があると思えます。最も意義があると思えます。今までの経験で、選挙をとおし

今年から投票所がふえました。はじめは役場と第一小学校と第二小学校の三ヶ所でしたが、有権者が増加してきましたので昭和三十八年に福生町自治会館、今年から都立多摩工業高校と町立すみれ保育園の二ヶ所を増設し、有権者の利便を図りました。

町の選挙に対してどんなことをぞみますか

わたしはよく婦人会の集りなどに出席することがありますが、よく選挙のたびに炊きだしに出されたり、選挙事務所に顔を出さないで反対派と見なされるのが大変つらいという声をよく聞きます。こういうことは改めてもらいたいと思えます。また、選挙が近づくと、警戒と称して夜な夜な部落の街などに立つて、よそ者の潜入に目を光らせるなどということも、自由選挙の原則からいって、是非やめてもらいたいと思えます。町が大きな町全体との均衡のとれた発展がぞまれています。町が大きな町全体との均衡のとれた発展がぞまれています。

選挙は自分の判断でできることなのですから。それから当選後など、いろいろな会合に議員を招待するのは慎しまなければなりません。自分たちの代表に負担をかけないで、十分町の政治に働いてもらうよう町民も心がけなければなりません。

永久選挙人名簿についてはどうですか

昨年九月から実施され、再三PRしてもつづりますが、これは満二十才になつたら必ず登録の手続きをしてもらいたいと思えます。また異動などのあつたときは必ず異動の手続きをしてもらいたいと思えます。さもないと名簿から抹消できまけんから。なお自分が名簿にのつているかどうか見た人は、役場にきてもらえばいつでもお見せします。

白紙や落書きの投票は多いですか

政治に対する関心が深まつたのでしようか、以前にくらべだいぶ少くなり、開票もスムーズになりました。せつと大切な投票所まで来るのですから大切な票をそまつにしてもらいたくないと思えます。

投票の秘密は守られるという点ですが、実際にはどうですか

二なわれているのですから、誰かが投票に来たかわかる名簿対象名簿ですが、あは外

部の人には絶対に見せません。また開票も、各投票所ごとの投票用紙を、一ヶ所にまとめておこなつたなどという事は絶対に行きません。ですから各人が自分の判断で立派な人を選らばよいわけですね。開票状況もできるだけ多勢の人に現場で見てもらいたいと思うのですが、会場が狭く現在ではできないのが大変残念に思つております。

最後にこれからの選挙についてどんなことをぞみますか

そうですね。金をかけないで有能な人がどんどん選挙に出られるような選挙が行なわれることをぞみます。こういうことが結局は正しい政治につながると思えますから……

金をかけず、有能な人がどんどん選ばれる選挙の言葉は選挙管理委員十五年間の生活から言葉なのでしよう。徐州作戦から武漢攻略作戦に参加し、負傷し九死に一生を得た志村さんは、日本の昭和史を痛でじかに感じたことではない。正しい国や町の歩みにつながる選挙関係の仕事の中でも、今までの体験が生かされているものと思えます。選挙をとおし

ての町の姿を、いろいろな例をあげ、終始にこやかに語つてくれました。